

航空安全実施計画(ナスプNASP)とは

- 航空安全実施計画(NASP:National Aviation Safety Plan)とは、SSPで定められた目標の達成に向けて、一定期間の具体的な取組を記載した文書。
- ICAOの策定する世界航空安全計画(GASP)や策定マニュアルを踏まえ、各国において「運航上の課題」、「組織上の課題」を特定し、それらに対する具体的な取組を設定する。

NASPの概要

第1章 序文、第2章 目的

位置づけ : SSPで定める目標を達成するための取組を具体化する計画文書であり、ICAO GASPと整合を取りながら策定
目的 : 特定した安全課題(運航上の課題及び組織上の課題)の除去若しくは低減すること。
計画期間 : 2026年4月～2028年(概ね3年間)

第3章 運航上の課題

リスクの高い事項(N-HRCs:National high-risk categories)とその他運航上の課題を特定

＜リスクの高い事項＞

- ① 滑走路誤進入(RI)
- ② 滑走路逸脱(RE)
- ③ 制御飛行中の地表への衝突(CFIT)
- ④ 飛行中の制御不能(LOC-I)
- ⑤ 空中衝突(MAC)

＜その他運航上の課題＞

- ① 乱気流遭遇(搭乗者の死傷事案に限る。)(TURB)
- ② 離着陸時の滑走路への異常な接触(ARC)
- ③ エンジン以外の航空機システム等の故障又は誤作動(SCF-NP)

第4章 組織上の課題

次の4つの課題を特定

- ①安全監督能力の強化
- ②SSPの効果的な実施
- ③ICAO及び諸外国との安全に係る問題の共有
- ④NASPの効果的な実行とSSPの改善

第5章 モニタリング

実施状況を定期的に評価し、必要に応じて本計画を見直す。

付録

運航上の課題、組織上の課題に対する具体の取組